

官民連携による骨折予防対策の実施に向けたマーケットサウンディング（市場調査） 質問・質問に対する回答一覧 ※質問受付順

整理番号	質問	質問に対する回答
1	対象者の抽出に使うレセプトは何年何月から何年何月までのものですか？	事業実施年度の前年度4月～データ提供最終月の2か月前までのものです。
2	<p>②実施要項4                      (1) 想定対象者及び対象者数 ※本市にて対象者抽出を行います。                      ア 骨粗しょう症検診の結果「要精密検査」の判定となり、レセプトで精密検査未受診かつ、骨折歴のある方                      ・国民健康保険被保険者 50～74歳の女性 : 約100人                      ・後期高齢者医療被保険者 75～79歳の女性 : 約25人                      イ 骨折歴があり、骨粗しょう症未治療の方のうち、以下に当てはまる方                      ・国民健康保険被保険者 50～74歳 : 約6,000人                      ・後期高齢者医療被保険者 75～79歳 : 約3,000人                      ※他疾患の治療を優先する必要がある場合等は対象外とする。</p> <p>↑上記の想定対象者数の割り出しに使用したレセプトの該当期間をご教示ください。</p>	<p>(1) 想定対象者数を算出するために使用したレセプト等の該当期間をお示しいたします。</p> <p>ア レセプトの該当期間                      令和6年4月～令和7年3月までの間に「傷病名：骨粗しょう症」の受診が確認できなかった方かつ、令和6年度骨粗しょう症検診の間診表で「骨折歴あり」を回答した方を対象者として抽出しています。</p> <p>イ ・骨折歴を把握するレセプトの期間                      令和5年4月～令和6年3月までの期間のものです。                      ・骨粗しょう症未治療を把握するためのレセプト該当期間                      令和6年4月～令和7年3月までの期間のものです。</p> <p>今後、対話による調査の提案内容等を参考に対象者抽出の条件についてはさらに検討したいと考えています。</p>
3	<p>実施要領2.課題及び目的に記載の受診勧奨について、                      ①令和7年度に貴市で受診勧奨された対象者数                      ②受診勧奨手法（架電以外の受診勧奨手法。例：ハガキ送付、訪問指導等）                      ③それぞれの受診勧奨実施時期                      をご教示お願いいたします。</p>	<p>①令和7年9月～令和8年2月までの対象者数は89名です。                      ②訪問及びリーフレットの送付                      ③骨粗しょう症検診受診月の5か月後頃に架電等による受診勧奨を実施しました。                      例) 骨粗しょう症検診4月受診者には、7月頃に骨粗しょう症検診実施課より受診勧奨を行います。                      当課は9月頃に精密検査未受診者データを受領し、以降、受診勧奨を実施しています。</p>
4	<p>実施要領2.課題及び目的に記載の受診勧奨について、                      担当職員（保健師）だけでは対応しきれない状況にあるため、業務委託による実施を検討しています。と記載いただいているが、現状何名体制で対応されていますでしょうか？</p>	<p>現在、3名体制です。</p>

5	<p>実施要領4.事業概要（1）に関する数字参考資料に関してご教授ください。</p> <p>①骨粗しょう症検診の対象者数と実際の検診受診者数をご教授ください。</p> <p>②「骨折歴があり、骨粗しょう症未治療の方のうち」というところですが骨折歴がある方で骨粗しょう症診断されたうちの未治療者という理解でよいでしょうか？いわゆる治療離脱されている方でしょうか？</p>	<p>①骨粗しょう症検診の対象者は、18歳以上（※年度末年齢）の大阪市民（大阪市に住民票がある）の方です。令和6年10月1日時点の18歳以上の大阪市民は、2,453,719人です（※「年齢別推計人口【年齢各歳別】（令和4年以降 毎年10月1日現在）」より算出）。令和6年度骨粗しょう症検診受診者数は14,964名です。</p> <p>②「骨折歴があり、骨粗しょう症未治療の方のうち」とは、骨粗しょう症の診断の有無に関わらず、レセプト確認により、脆弱性骨折の骨折歴があるが、骨粗しょう症の治療をされていない方のことです。</p>
6	<p>実施要項4.事業概要（3）評価指標について、医療機関受診者数（割合）のほか、想定されている指標はございますでしょうか。</p>	<p>現在想定している評価指標は、「医療機関受診者数（割合）」のみです。</p> <p>ただし、本マーケットサウンディングの結果を踏まえ、変更する場合があります。</p>
7	<p>実施要項4.事業概要（4）契約方法等について、方法：成果連動型民間委託契約方式（PFS）を想定と記載ございますが、成果指標の定義はございますでしょうか。「医療機関受診者数（割合）等」と例示されていますが、単なる受診勧奨による「受診」だけでなく、「治療の継続（治療離脱の防止）」などは評価対象に含まれますでしょうか？</p>	<p>現在想定している指標は、「医療機関受診者数（割合）」のみです。</p> <p>事業実施期間は4月～令和8年3月であり単年度評価となるため、治療継続の評価は難しいと考えています。</p> <p>ただし、本マーケットサウンディングの結果を踏まえ、変更する場合があります。</p>
8	<p>成果連動型民間委託契約方式を想定されているとのことですが、現時点で成果指標の設定や成果連動部分等について方向性等ございましたらご教示ください。</p>	<p>医療機関受診者数（割合）に応じたインセンティブの付与を考えております。その他については検討中です。</p> <p>ただし、本マーケットサウンディングの結果を踏まえ、変更する場合があります。</p>
9	<p>想定されている予算規模や固定払いと成果連動払いの割合について、現時点でお示しいただけるものがあればご教示ください。</p>	<p>現時点で予算規模は500～1,000万円程度を考えておりますが、実施方法によって予算規模を検討したいと考えています。</p>
10	<p>これまでどのような取り組みをされてきたか、取り組み内容について可能な範囲でご教示いただけますでしょうか。またその際、特に課題と感じられた点について、差し支えなければご教示ください。</p>	<p>令和7年度の取り組み内容は電話及びリーフレットの郵送です。対象者に架電しても業務時間内に通じない方や受診勧奨を行っても消極的な方がおられること等、効果的にアプローチを行う方法について課題があると考えています。</p>
11	<p>今回、骨折予防に関して特に優先的に改善したいと考えられている部分があれば、ご教示ください。</p>	<p>対象者に架電しても業務時間内に通じない方や受診勧奨を行っても消極的な方がおられること等、効果的にアプローチを行う方法について課題があると考えています。この課題を改善し、脆弱性骨折のリスクがある方を受診に繋げることが必要であると考えています。</p>